数百匹のホタルが夜空を乱舞
桑折町ホタルまつり

町螢保存会による「桑折町ホタルまつり」が6月21日から23日の3日間にわたり、産ヶ沢川ホタル自然公園で開かれ、約2、000人が桑折のホタルに魅了されました。21日には、オープニングセレモニーが行われ、会長の吉田良典さんが「長い眠りから覚めた光の天使が夜空を舞う姿を楽しんで」とあいさつ。その後、聖和学園高等学校（仙台市）の「聖和雀組」と地域団体の「国見雀雀」（仙台市）が仙台すずめ踊りを演舞。伊達氏ゆかりの伝統文化が伊達氏発祥の地で披露され、ホタルまつりに華を添えました。

仙台すずめ踊りは、仙台城の完成を祝う宴席で、泉州・堺（現大阪府堺市）から移り住んだ石工たちが伊達政宗の前で即興で披露した踊りがルーツで、伊達家の家紋が「竹に雀」であったことから「すずめ踊り」と呼ばれるようになりました。

町自慢の食材を堪能
「こおりっ子給食」で育む地元愛

町自慢の食材をふんだんに活用した「こおりっ子給食」が7月16日、町内の幼稚園および小中学校に提供されました。

幼少期から給食を通して町産の食材に触れることで、町の「おいしい」味わいを知ってもらい、郷土愛を育んでいこうと令和4年度から始まった本事業。当日は、半田醸芳小学校4年生の教室を高橋町長が訪れ、児童らと一緒に特別な給食を堪能。伊藤俊介主任栄養技師による食材の説明などを聞きながら、味の感想や好きな給食について話し、みんなで楽しい給食の時間を過ごしました。

■ご飯（町産コシヒカリ）
■牛乳（県産）
■ロイヤルピーチポークのネギソースかけ
- 町ブランド豚「ロイヤルピーチポーク」
- 玉ねぎ（町産）

■きゅうりとにんじんのバンバンジー風サラダ
- きゅうり（町産）
- にんじん

■町産野菜のみそ汁
- じゃがいも（町産）
- たまねぎ（町産）
- にんじん
- みそ（安齋醸造・JA加工部会）
- だししょうゆ（キッコーゲン醤油）

■一口ももゼリー（県産桃使用・市販品）

1_伊藤主任栄養技師による献立の説明を聞きながら給食を楽しむ児童のみなさん　2_この日限りのメニューを味わう児童
3_町産食材をふんだんに使用したこおりっ子給食。何度もおかわりをする児童の姿もみられ、郷土愛を育みました

働きやすい職場づくりを目指して
ワーク・ライフ・バランス実践講座

県男女共生センター共催の「ワーク・ライフ・バランス実践講座」が6月26日、役場で行われ、町内企業や事業所、役場などに勤めている管理職ら16人が参加しました。当日は、株式会社ペンギンエデュケーションの横田智史代表取締役を講師に、イクボス式経営で働きやすく、業績も上がる職場づくりについての講話とワークショップが行われました。参加者は、職場での課題を洗い出し、どのようにすれば解決ができるかなどを話し合いました。町は今後も、男女共同参画や女性活躍推進のための事業を展開していきます。

▲職場でともに働く部下やスタッフのワーク・ライフ・バランスを考え、その人のキャリアと人生を応援しながら、組織の業績の結果も出しつつ、自らも仕事と私生活を楽しむことができる上司（経営者・管理職）を指す「イクボス」。参加者のみなさんは、日ごろの悩みや課題を共有しながら、よりよい職場環境を目指して話し合いました

楽しく学ぼうSDGs！
マリカ先生のSDGs講演会

町制施行70周年記念事業「楽しく学ぼうSDGs！マリカ先生のSDGs講演会」が7月5日、イコーゼで開かれ、町内外から約100人が参加しました。第1部では、町商工会や町社会福祉協議会、半田山愛草会など、町内でSDGsを推進している各団体の取り組みを紹介。第2部では、マリカ先生による講演やマジックショー、サイエンスショーが行われ、子どもから大人まで楽しくSDGsを学びました。参加者からは「家庭でもできるSDGsの取り組みを実践していきたい」などの声が寄せられました。

1_SDGsクイズに答える参加者のみなさん　2_シラネアオイの保存活動について発表する半田山愛草会　3_空気の動きなどを実験を交えて解説するマリカ先生

広　告

広　告